

## 総 括

令和3年度に引き続き、新型コロナが蔓延した一年でした。当会の行事、新芽まつり・秋穫際は出店などの規模を縮小しての開催とはなりましたが、ご参加いただいた皆様の笑顔があふれる一日となりました。

街頭カンパなどの活動ができない中、各ブロック、市協会には「咲む」上映会に取り組んでいただき、令和2, 3, 4年度に上映した収益から、一部当会に寄付していただきました。上映会には、1度ならず複数回足を運んでくださった方や、周囲の方に声をかけてくださった方もおられました。後援会のため、ひいては聞こえない人たちの福祉・活動をバックアップするための温かいご支援につながるものと思っております。

指文字ストラップなどの物品を、新芽まつり、秋穫祭、上映会会場、耳の日まつりなどで販売することによって、当会活動内容をご理解いただき、結果としてご支援・ご協力をいただくことができました。

令和3年度に、社会福祉法人千葉県聴覚障害者協会が、今まで使用していたらいおん工房（借りていた土地）を買取りました。後援会としても可能な支援をしました。令和5年度は、社会福祉法人千葉県聴覚障害者協会がらいおん工房の建て替えに向け、設計に入る予定であると理解し、想いを共有しております。建て直して、数年後には立派な施設が出来上がることでしょう。さらに北総地区にも、聞こえない人の拠点となる施設づくりの話が出ております。仲間が集い、手話でおしゃべりをして、お茶を飲む、そうした生活を楽しむ場ができる日が待ち遠しいです。

令和5年度は、新型コロナも5類の扱いとなります。私たち後援会も街頭カンパなど様々な活動もしやすくなるかと考えております。手話で安心して語り合える社会の実現を目指して、地道な努力を重ねていきたいと思っております。引き続き皆様のご協力をよろしくお願いいたします。